

オリーブオイル便り NO. 5

有限会社地中海物産 2020年3月17日

ご愛用の皆様、ご無沙汰しております。今年は世界的なコロナウィルス感染症の大流行で、イタリアも対応に苦慮しているようです。幸いなことにオッサーニ農園では、11月から12月にかけて収穫、搾油、瓶詰め作業を行いますので、弊社のオリーブオイルはイタリアの大混乱に巻き込まれることなく、無事に日本に到着いたしました。

さて、私共は、昨年11月に現地に赴き、オリーブオイル製造の様子を確認して参りました。今回はその時の現地の様子を中心に、皆様にお伝えしたいと思います。

1 現地での生産の様子

11月、オッサーニ農園では、オリーブ果樹が順調に育っておりました。一時期流行したオリーブ果樹の病気（ピアス病）もひと段落している様子です。

写真はオリーブオイル製造の現場です。



2 温暖化の影響による異常気象と収量の減少

近年、イタリアは温暖化によると思われる異常気象に悩まされています。水の都として有名なヴェネチアで、温暖化を一因とする海水面の上昇によりサンマルコ広場が水没し、人々が長靴で歩いている様子を、メディアを通じてご覧になったことがあるかと存じます。2019年度もヨーロッパは記録的な暖冬で、ブリジゲッタでも12月に入ってから異常気象に見舞われたそうです。その為、結果的に品質の良いオリーブ果実の収穫量は昨年に比べて大幅に減少してしまいました。

今年も弊社は、オリーブの収穫量の減少の報告を受け、輸入量を昨年並みにし、品質の良いオリーブオイルを確保することにいたしました。従って、皆様のお手元には、昨年同様、素晴らしい品質のオリーブオイルをお届けできることとなりました。今年も、オッサーニのオリーブオイルを、是非、ご堪能下さい。